

十勝における発生状況・取組

○管内の新規感染者発生状況 (令和3年8月10日現在)



7/7 ~ 7/13	7/14 ~ 7/20	7/21 ~ 7/27	7/28 ~ 8/3	8/4 ~ 8/10
10人/週 (2.9人)※	10人/週 (2.9人)※	7人/週 (2.1人)※	74人/週 (21.8人)※	101人/週 (29.7人)※

※()は、人口10万人あたりの新規感染者数

○集団感染の概要 (令和3年8月10日現在)

発生場所	市町村	陽性者数	公表日	発生場所	市町村	陽性者数	公表日
帯広畜産大学	帯広市	12名	R3.7.30	共同収穫作業グループ	帯広市	6名	R3.8.6
飲食店	帯広市	9名	R3.8.2	事業所	帯広市	5名	R3.8.7
管内不動産会社	-	5名	R3.8.5				

学生の皆様へ
～十勝総合振興局からのお知らせ～

管内では、7月末から家庭、学校、職場、飲食店などにおいて感染が広がっており、大学では集団感染事例が確認されるなど、予断を許さない状況となっています。

これから、連休や夏休みを契機とした帰省や旅行が増える時期を迎えますが、学生の皆様には、今一度、ご自身の行動を見つめ直し、感染リスクを最大限低減させる行動の徹底をお願い申し上げます。

<まん延防止等重点措置期間(8月2日～31日)の要請内容>

【感染防止行動の実践：行動のポイント】

○日常生活においては

- ・感染性が高いとされるデルタ株に置き換わりが進むことを想定し、「三つの密(密閉・密集・密接)」、「感染リスクが高まる「5つの場面※」」等の回避や、「人と人との距離の確保」「マスクの着用」「手洗いなどの手洗い消毒」をはじめとした基本的な感染防止対策を徹底する
- ※飲食を伴う飲食店等、大人数や長時間に及ぶ飲食、マスクなしでの会話、狭い空間での共同生活、職場等のやり取り
- ・オリンピックは自宅で応援する
- ・発熱・せきなど体調が悪い場合は、すぐに医療機関に電話のうえ、受診する

○外出の際には

- ・感染リスクを回避できない場合、不要不急の外出や移動を控える
- ・札幌市との不要不急の往来は控える
- ・不要不急の都道府県間の移動は極力控える

○飲食の際には

- ・感染防止対策が徹底されていない飲食店等の利用を控える
- ・路上・公園等における集団での飲食など、感染リスクが高い行動を控える
- ・飲食は4人以内など少人数、短時間で、深酒をせず、大声を出さず、会話の際はマスクを着用する(「飲食～食後は静かに、会話はマスク～」の実践)

令和3年8月5日

北海道十勝総合振興局長 水戸部 裕

【問い合わせ先】
北海道十勝総合振興局地域創造部地域政策課 in0155-26-9022
※なお、感染状況はHPで公表していますので、そちらをご覧ください。
(URL)http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kth/kak/hasseijoukyou.htm



○まん延防止等重点措置を踏まえた取組 (令和3年8月10日現在)

- ・振興局長と管内各市町村長との緊急合同メッセージの発出(7/12,20,31)
- ・「コロナに負けない十勝宣言」関係団体(30団体)への周知
- ・発生市町村の首長に対し、振興局長から個別に注意喚起の依頼
- ・地元紙において、振興局長の緊急インタビュー記事を掲載(8/5,7)
- ・地域FMと連携した注意喚起やスポットCMを放送 (7/17～21,8/5～13・2～4回/日)

住民や事業者等へ注意喚起

管内の状況を踏まえた業界等への個別働きかけ

- ・農業団体を通じた農業従事者等への注意喚起の徹底(北農中央会帯広支所)
- ・夜の街関係団体を通じた市内飲食店等への対策の再確認とさらなる注意喚起
(帯広市観光社交組合、帯広商工会議所、市商店街振興組合、市中心街連合協議会ほか)
- ・市内繁華街における街頭放送による飲食店利用者向け注意喚起の実施(7/17～21,8/5～13・20回/日)
- ・大学の学生向けポータルサイトを活用した学生への注意喚起(帯広畜産大学、帯広大谷短期大学)